

日本国際連合学会 会員のみなさま

『国連研究』第15号（2014年6月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。会員のみなさまからたくさんの応募をいただき、学会誌を通して有意義な議論ができますように願っております。ふるってご応募ください。

1 募集原稿の種類

1) 特集テーマ『グローバル・コモンズと国連』に関連する論文を募集します。

趣旨：

コモンズという用語は、ギャレット・ハーディン (Garrett Hardin) の「共有地の悲劇」(The Tragedy of the Commons) で知られるように、とりわけ環境問題に言及する際に用いられる用語であり、共有資源等とも訳される。しかしながら、第15号の特集テーマとして「グローバル・コモンズ」を取り上げるにあたっては、単に環境問題等の共有資源だけではなく、人々の安心・安全確保の目的を含めて国際社会で広く共有されているルールや手続き、そして、国際社会がこれらのルールや手続きに基づいて地球規模の諸問題に取り組んでいく秩序作りの努力を指す用語として捉えたい。たとえば、国際経済や金融の秩序はその体系が確立されており、益々グローバル化する経済活動を支えているという点で、人類にとってのグローバル・コモンズと捉えて良いだろう。また、世界遺産・南極・深海・宇宙、普遍的人権と国際人権法秩序、航行の自由が保障された公海、核管理や紛争予防のシステム、知識等も含む、地球公共財やグローバル・ガバナンスと類似・近接性のある概念と理解することも可能であろう。

第15号では「グローバル・コモンズ」をテーマに、様々な分野における活動が人類の共有財産へと発展していく段階において、国連をはじめとする多様なアクター（主体）はどのような活動を行ってきたのか、あるいは未整備な状況があるとすれば、どのような役割を担うべきなのかといった点を中心に特集を組みたいと考えている。公共政策の視点からはもちろんのこと、グローバル・イシューに取り組む多様なアクターの動きを国際協力の視点から議論した研究、また、「持続可能な発展」、「人間の安全保障」、「保護する責任」といった様々な概念を素材に国際秩序のあり方を議論することも可能であろう。あるいは、国際公益実現のための国連システムの役割や企業の社会的責任（CSR）の視点から分析することもできるのではないか。このように、特集テーマとして扱う「グローバル・コモンズ」は、様々な領域からの分析が可能な幅広い概念である。それぞれの専門領域からの積極的な投稿を期待している。

2) 実務家等の視点に基づく政策レビュー

『国連研究』では、研究者による論文に加えて、実務家の方々による現場の目を通した論考も掲載しています。国連における、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。国連学会は理論と実務をつなぐ学会としての性格を大切にしています。

3) 独立論文

特集テーマとかかわらない書き下ろしの論考は「独立論文」として投稿を受け付けています。特に、若手研究者による研究発表の場として、投稿を歓迎します。

4) 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

5) 書評

一冊の編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。執筆希望（書評対象書を明記）の申し込みの他に、書評対象書（評者を添えてもよい）の推薦も受け付けています。

2 応募方法と締め切り

1) から4) の論文タイトルおよび論文趣旨（800字程度）を、2013年8月11日（日）までに下記宛でお送りください。また、5) の書評執筆申し込みまたは書評対象書候補の推薦については、2013年7月31日（水）までにお願います。それぞれ、電子版でご提出ください。

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1

北九州市立大学外国語学部 大平 剛 (『国連研究』 編集担当)

E-mail : ohira-t@kitakyu-u.ac.jp

3 採否

1) から4) に関してお送りいただいた論文タイトルと論文趣旨ならびに5) の書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦を検討し、まず「執筆」の可否を決定してご連絡いたします。

「執筆可」の場合には、原稿をご執筆いただき、11月24日（日）までに完成原稿をご提出ください。提出原稿は、編集委員会が依頼する査読を経たのち、修正が必要な場合には修正をお願いした上で、最終的な「掲載の可否」を決定いたします。

4 応募ならびに完成原稿の提出締め切り日程

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| ・ 1) から4) の論文の応募（論文のタイトルおよび趣旨） | 2013年 8月11日（日） |
| ・ 書評の執筆申し込みと書評対象書の推薦 | 2013年 7月31日（水） |
| ・ 完成原稿（特集論文、政策レビュー、独立論文、書評論文、書評） | 2013年11月24日（日） |
| ・ 『国連研究』第15号発刊予定 | 2014年 6月 |

5 執筆要領・編集要領について

2011年に、執筆要領ならびに編集要領が改訂されました。ホームページに掲載されていますのでご覧ください。ここでは、「執筆上の一般的注意」の概要のみを記載します。

【原稿】

- ・ 筆者オリジナルの書き下ろしのものとする。
- ・ 原稿は和文もしくは英文による。
- ・ 書評論文と書評を除き、原稿には英文サマリーを添える。
- ・ 原稿はワードファイルで編集主任へ送付する。

【原稿字数】

- ・ 書評と書評論文以外は、注と図表を含めて20,000字以内とし、横書きとする。
- ・ 書評論文は、注を含めて10,000字以内とする。
- ・ 書評は、4,000字以内とし、注は付けない。